

令和8年度 入園のご案内



学校法人麻生文教学園
南福岡幼稚園



本学園 建学の精神



麻生学園創立者、初代理事長、初代学長、教育学博士 麻生 繁樹 書

「至心」とはまごころのことです。

すべての物（人）に慈悲、慈愛の心をもって接するという教え

職員一同、建学の精神を受け継ぎ、誠心誠意、お子様の教育に努めております。

「育ての心」序より(倉橋 惣三選集より)

自ら育つものを育てせようとする心。それが育ての心である。

世にこんな楽しい心があろうか。それは明るい世界である。

温かい世界である。育つものと育てるものとが、互いの結びつきに於て相楽んでいる心である。

育ての心。そこには何の強要もない。無理もない。育つものの偉きな力を信頼し、敬重してその発展の途に遵うて(したごうて)発達を遂げしめようとする。役目でもなく、義務でもなく、誰の心にも動く真情である。

しかも、この真情が最も深く動くのは親である。次いで幼き子等の教育者である。

そこには抱く我が子の成育がある。

日々に相触る子等の生活がある。

斯うも自ら育とうとするものを前にして、育てずしてはいられなくなる心、それが親と教育者の最も貴い育ての心である。

それにしても、育ての心は相手を育てるばかりではない。

それによって自分も育てられてゆくのである。我が子を育てて自ら育つ親。

子等の心を育てて自らの心も育つ教育者。

育ての心は子どものためばかりではない。親と教育者とを育てる心である。

※倉橋 惣三・・1882～1955 日本の幼稚園保育の指導的立場で活動し続け日本

のフレイベルと言われた「日本幼稚園協会」の創設者

育ての心を持ち、ご一緒に相楽しみましょう。



本学園の教育目標

麻生文教学園は、子ども達の“根っこ”を育てる教育を行っています。子ども達の生きる力がしっかりと身についていくように、家庭・社会・幼稚園が協力し合い、連携を取りながら一人ひとりの育ちをサポートします。

- ・土の中で小さな根っこは大きく根を張り(幼児期)
- ・やがて芽を出し大きな幹となり(児童期)
- ・枝葉を広げ咲かせ(青少年期)
- ・やがては立派な実をみのらせる(社会人)



望ましい人間形成

幼児教育はしっかりとした根っこを育てます

①基本的な生活習慣を身につける

- ・物を大切にする
- ・約束や決まりを守る
- ・人に親切にする
- ・挨拶をする
- ・あとかたづけ
- ・衣服の着脱

- ・責任感
- ・自主性
- ・自省心
- ・協調性

②情緒の安定

- ・子どもらしさ
- ・やさしさ
- ・同情心
- ・がまん強さ
- ・気力
- ・明るさ
- ・落ち着き
- ・素直さ
- ・いとおしさ

- ・情操
- ・愛情
- ・慈愛

③道徳性の芽生え

- ・助け合う
- ・公共物を大切にする
- ・譲り合う
- ・自分の物と人の物との区別
- ・人に親切にする
- ・感謝する

- ・自主性
- ・責任感
- ・根気強さ
- ・自省心
- ・向上心
- ・公正さ
- ・指導性
- ・協調性
- ・同情心
- ・公共心
- ・積極性
- ・自立心

④知的発達への芽生え

- ・意欲、意志
- ・知識
- ・やる気(根気強さ)
- ・驚き
- ・見たり、聞いたり、試したり、扱ったり

- ・積極性
- ・創造力
- ・工夫力
- ・記憶力
- ・行動力
- ・向上心
- ・指導性
- ・自立心



南福岡幼稚園の概要



麻生文教学園は、福岡市南区に本部を置き、福岡市内に3園を運営しています。他にも幼稚園、大学、短大、小学校と系列の学園が運営する施設が全国にあります。中でも幼稚園は、福岡県内に9園あり、約1000名の園児が通っています。本園は前身である「みつばち幼稚園」として昭和36年に開園、その後昭和59年「学校法人麻生文教学園 南福岡幼稚園」となりました。各学年1クラスずつでのクラス運営の他、園庭遊びなどの際は異年齢児の交流が多く毎日、伸び伸びと子ども達が楽しく園生活を送っています。全員の園児たちを見守り、ひとりひとりを大切に思い細やかな指導に努めています。

- 1, 本園は学校教育法第1条に基づくものであり、幼・小・中・高・大学と系統教育の一環をなす幼稚園(学校)であります。
- 2, 本園は幼児の心身の調和的な発達の特性を培い、個性の芽生えを助長し、豊かな感性と慈愛の精神を養い、心と体の健全な発達に重点を置く幼児教育の実践の場であります。
- 3, 幼児の心身の発達とその特性に応じた生活を展開するに必要な施設・設備も整い、閑静で環境にも恵まれた幼稚園であります。
- 4, 「教育は人なり」と言われるように本園はすぐれた教諭により、常に絶えざる研究と実践が行われ、愛と感謝の教育理念に基づいた教育を行っています。
- 5, 本園の教育課程は幼児の心身の調和的発達の実情を考慮すると共に、家庭及び地域の実態や特質を加味したものであり、指導方法としては年齢別、クラス割の指導を主としていますが、時には異年齢クラス編成による縦割保育も行っています。
- 6, 本園は2年、3年、4年間を通した教育計画に基づき、年長(青組)・年中(赤組)・年少(桃組)満3歳児(たんぽぽ)を主体とした教育を行っています。
- 7, 休園日は、土曜・日曜・祝祭日(園行事を行う月もあります。)その他夏・冬・春期の休み及び園で定めた日となっています。
- 8, 本園は、教育実習生を受け入れており、学生と園児の活気ある触れ合いの教育実習の現場でもあります。
- 9, 私立の進学校として「麻生学園小学校」があります。麻生学園小学校は、学校法人麻生学園及び麻生文教学園の麻生グループの小学校であります。受験をご希望の方は、園長推薦ができますので、お申し出ください。

☀️ 南福岡幼稚園の年間教育目標とねらい ☀️

1 学期

適応の時期

2 学期

発展の時期

3 学期

充実の時期



★満3歳児

- 新しい環境に親しみ、年上の友達や保育者に見守られている安心感を持ち好きな遊びを楽しむ。
- 基本的な生活習慣を身につけ、のびのびとした園生活を送る。

★3歳児

- 園生活の流れがわかり、身の回りの始末を自分でしようとする。
- 基本的な生活習慣が身につく、自信を持ってのびのびと行動する。
- 進んで異年齢の友達と関わり、信頼感や愛情を持って活動に取り組む。

★4歳児の年間目標

- 異年齢の友達と刺激を受け合い、思いやりや協調性を持って相手の気持ちを受容する。
- いろいろな遊びに興味を持ち、保育者や友だちとの関わりを広げる。
- 身近な環境に興味・関心を持ち、発見を楽しんだり、考えたりする。

★5歳児の年間目標

- 主体的に活動に取り組み、友だちを認め合ってグループ遊びが進められるようになる。
- 年長としての役割を自覚し、意欲的に活動する中で年下の友だちとのかわりを深め思いやりやいたわりの気持ちを持つ。
- 自然や身近な事象に興味・関心を持ち、好奇心や探究心を高めていく。
- 就学に向けて目標を持ち、自覚と自信を持って行動する。

☆お子様の発達、療育等に関してのご相談がある場合は、必ず入園前にご相談ください。



南福岡幼稚園の特色ある保育内容



★健康な「こころ」と「からだ」をつくる。

★「ありがとう」「ごめんなさい」が言える子どもを育てる。

★「遊び」には、考える力・生きる力を育む「学び」がたくさんあります。

★様々な体験を通して、子ども自身が持っている力を引き出し、自分で考えて行動できる子どもに育てます。



○ 食育…「食」を通じて生きる力を育みます。

季節の野菜を園庭のプランターや花壇に育て、生長や発見を楽しみ、収穫体験を行い、実際にいただきます。「食べてみたい」という心、感謝の気持ちを育てていきます。嫌いな野菜も、食べることができるようになります。

○ 泥んこ遊び…五感を使ってのびのび遊びます。

衛生的に安全な砂場、そして広い園庭の中で思いっきり水と土を使った泥んこ遊びを楽しむことで豊かな感性を育みます。

※第2、第4水曜日は全学年で泥んこ遊びを楽しみます。
ティーム保育…異年齢の子ども達と育ち合う保育。



○ 裸足…足の裏は、第2の心臓です。

園庭全部が砂場！安心して裸足で過ごせます。「くすぐったい」「ちょっとちくちく」など足の裏が刺激され、様々な感触を味わうことができます。また、屋外室内共に裸足で生活することにより、



○ 誕生会

全園児でお祝いをします。
誕生児一人ひとりの紹介を
したり、お楽しみ会として歌をうたっ
たり、先生達の劇やパネルシアターを
観て楽しく過ごします。
※お子さまの誕生月には保護者の皆様をご招待
させていただきます。

○ セイハ英語教室（火曜日）

年中さん、年長さんが30分ずつ
外国人講師と日本人講師の先生
のチームティーチングより
指導をしていただきます。
【費用：月1000円】

○ 麻生フェスティバル（全園児）

麻生学園グループの幼稚園9園の
園児、保護者、教職員が一堂に会し、
福岡市民ホールにて、
麻生フェスティバルを開催してい
ます。

○ 園内観劇会（全園児）

プロの劇団の方を呼んで園内の遊戯室
にて劇を上演します。
お話の世界に入り込み、
感動を味わうことができます。

○ 体育教室（金曜日）

幼児体育専門の指導者による
体育指導を行っています。
マット、鉄棒、縄跳びなど
身体全体を使った運動に挑戦します。
（全学年対象：年少児は3学期より）

